

株式会社ヒノキヤグループ

2025年3月31日

報道関係各位

ヒノキヤグループ 2024年12月期決算について

株式会社ヒノキヤグループ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長・CEO 近藤昭、以下、ヒノキヤグループ）は、2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の連結業績において、売上高1,448億9千万円（前期比1.9%増）、経常利益72億9千万円（前期比2.9%減）となりました。

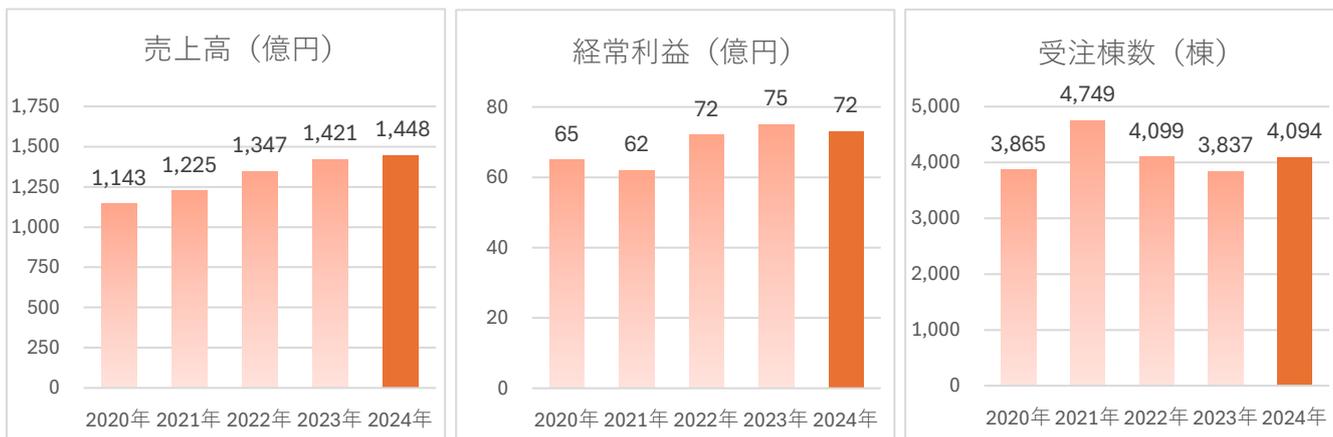
2024年の住宅市況においては、物価高に伴う住宅販売価格上昇や金利上昇による消費マインド低下を受け、新設住宅着工戸数が80万户を下回るなど需要が落ち込みました。また建築資材や労務費をはじめとする建築コストが増加の一途を辿るなど、厳しい環境が続いています。

このような事業環境のもと、ヒノキヤグループでは、主力となる木造住宅分野において、新商品「The Elite one」の発売や超長期保証制度の導入などが奏功したことや、戸建分譲住宅が順調に推移したことなどにより、受注棟数が増加しました。また、注文住宅の売上棟数は減少したものの、鉄筋コンクリートパネル組立工法の賃貸併用住宅が好調に推移したことなどにより、住宅事業全体の売上高は前期比3.4%増となりました。さらに断熱材事業においては、ゼネコン向け大型物件の施工増や高耐久防水材「アクアハジクン」などの伸長が寄与し売上高は前期比6.8%増となりました。

これらの結果、2024年12月期はヒノキヤグループとして過去最高の売上高を達成しました。経常利益は、グループの事業拡大に伴う従業員数の増加や給与水準アップによる人件費の増加などが影響し前期を下回りました。

2025年は主力となる住宅事業において、年間を通じた注文住宅の着工平準化による売上棟数の増加や原価管理の徹底による利益率改善を図ります。また、より強固な事業基盤を構築するため事業エリアを拡大させるほか、ヒノキヤグループ経営統合（子会社6社合併）以来推し進めている業務効率改善など合併効果の最大化を追求し、収益性向上によるグループ全体の持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

【業績推移（2020年～2024年）】



【会社概要】

株式会社ヒノキヤグループ

■本社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館

■代表者：代表取締役社長・CEO 近藤 昭

■ホームページ：<https://www.hinokiya-group.jp/>

■事業内容：住宅事業、断熱材事業、不動産投資事業、リフォーム事業

■主な住宅ブランド：桜家住宅、パパまるハウス、レスコハウス